

共につくる 私たちの街 みしま

「市民主体のまちづくり活動費補助事業」活動報告

市民グループやNPO法人、事業所の皆さんが、自ら進んで企画・立案、実施する新たなまちづくりの取り組みを支援する「市民主体のまちづくり活動費補助事業」。今年度採択された6団体の事業をご紹介します。

問合せ 政策企画課 (☎983-2698)

10万円限度補助事業 (5団体)

HIPS

事業名 "No Wellness, No Life"
～スマートウェルネスに生きる女性を増やす事業～
事業内容 健康美啓発、知識向上イベントの開催、
みしま健康塾での満月の日定例企画の実施など
団体からのコメント 毎月開催の「満月ジョグ」は、
日本全国・世界各国から同じ満月の日に走るバーチャル参加者も増え、写真投稿などの交流を楽しんでいます。9月には、地元で活躍中の女性たちと公開座談会を開催し、幅広い世代の人が参加しました。3月には健幸^{けんこう}イベントを開催します。ぜひご参加ください。詳細はFacebookページをご覧ください。



ママとね

事業名 ママによるママのための出張託児「ママウエル」
事業内容 地域交流イベントなどに出張託児を派遣することにより、乳幼児を持つ母親の参加を促進し、心身共に美しく健康でいられるようサポートする。
団体からのコメント ママのためのスマートウェルネス「ママウエル」は、ひととき育児から離れて自身のカラダとココロの健幸^{けんこう}に向き合えるよう託児付きの事業にしました。カラダ編とココロ編の活動を行い、運動や夫婦でリフレッシュする機会を設けました。詳細は、ママとねウェブサイトをご覧ください。



てんとうむし文庫

事業名 絵本のたのしみ、手紙のたのしみ～絵本を通じて手紙を楽しもう！面白い手紙を作って出してみよう
事業内容 三島市出身の絵本作家スギヤマカナヨさんと絵本の編集者を講師に招き、手紙を作成するワークショップとブックトークを開催。
団体からのコメント 市内3カ所で毎週1回自宅を開放し、家庭文庫として本の貸し出しをしています。今回、絵本作家スギヤマカナヨさんの絵本をもとにした手紙づくりを行い、子どもたちは素敵な絵本に出会うことができました。活動の詳細は、てんとうむし文庫ホームページをご覧ください。



みなみecoまる隊

事業名 ゴミの減量推進と地域のきずなづくり
事業内容 各地域の老人会や子ども会などへの出前講座（振り込め詐欺、ごみ問題など）、陶器類のリサイクル事業
団体からのコメント ごみ処理問題や振り込め詐欺対策などの内容を、紙芝居や寸劇で分かりやすく、楽しく伝える取り組みをしています。また、不用食器のリユース活動も行っており、宿場まつりでは大盛況でした。出張もしますので、ぜひお呼びください。☎渡辺さん(☎975-1068)へ。



順天堂大学保健看護学部大場川クリーンズ

事業名 上岩崎公園から発信する女性を中心とした地域活性（女子力向上）事業

事業内容 女性をターゲットに、上岩崎公園で自然と触れ合い、環境問題について考える体験などを提供。

団体からのコメント 上岩崎公園の滝周辺から順天堂大学三島キャンパス裏の祇園橋までの大場川を楽しみながら清掃しているボランティアサークルです。年2回、春と秋に地域の人や子どもと楽しめる交流イベント「上岩崎公園ふえす」を実施しています。ぜひ遊びにきてください。詳細は、DRC（大場川クリーンズ）のFacebook ページをご覧ください。



25万円限度補助事業（1団体）

遊水匠の会

事業名 高齢者ふれあい居場所づくり"街角サロン&ガーデニング"（富士ビレッジ）

事業内容 市街地の空き家を借り上げて高齢者のふれあい居場所づくりに、空き地などを無償で借り上げて街角園芸や街角ふれあいスポーツ広場として活用。

団体からのコメント 空き家を利用した街角サロンでは歌声喫茶を毎週開催しています。ふれあい広場も"行けば誰かに会える"コミュニティ&スポーツ広場として、活用していきます。どなたでもご参加いただけます。☎小浜さん（☎090-5037-0010）へ。



～イクメン・イクボスを応援します～ 男性の育児休業取得補助金制度をご活用ください

イクメン（子育てパパ）とイクボス（それを支援する上司）を応援し、補助金を支給しています。

三島市の男性の育児休業取得補助金制度

- ▶市内在住の雇用保険被保険者の男性で、連続5日以上（週休日を除く）育児休業を取得した人
- ▶上記労働者を雇用する事業主

それぞれ1日につき5,000円（上限10万円）を支給

問合せ 政策企画課（☎983-2616）

育児休業を取得したイクメン・成田さん

取得の時期を周囲と共有

7月に5日間の育児休業を取得しました。三島信用金庫では、育児休業取得100%を目指しており、取得しやすい雰囲気でした。時期は繁忙期を外し、妻とも話し合って決めました。また、早い段階で上司や同僚と取得の時期を共有することで、仕事を引き継ぐ人にも心構えをしてもらうことができました。

子どもの成長をよく見られる貴重な経験

実際に育児休業を経験してみて、妻の大変さが身に染みました。朝から晩までずっと子どもと向き合って過ごすことは思いのほか大変でした。しかし、ずっと一緒に過ごしたことで子どもの成長をよく見る事ができたので、貴重な経験になりました。

ご家族の感想

夫が育児休業を取得してくれて、とても助かりました。子育ての大変さも共有できたので、きずなが深まったように感じます。自発的にお皿洗いなど家事や育児に取り組んでくれるようになったので、感謝しています。



▲成田さん

～三島信用金庫の事例～

補助金制度を利用した、三島信用金庫に勤務する成田晃一さんと上司の栗原支店長に感想を伺いました。

イクボス・栗原さん

企業のトップがリーダーシップを

育児休業は、家族のために頑張る気持ちが強くなる良いきっかけになると思います。取得を促すには、企業のトップや上司が方針を明確に示し、積極的な取得を浸透させる必要があります。同時に、職場での周囲の理解や声かけが大切だと考えています。



▲栗原さん